



つくばみらい市 議会だより



みらいのとびら

令和3年11月1日発行 第62号



Contents

- 特 集…………… P 2
- 一 般 質 問…………… P 8



NPO法人 地球の緑を育てる会



石村 章子 理事長

NPO法人 地球の緑を育てる会



市議会

今回は、つくばみらい市にあるほ場で「どんぐり」から苗木を育て、植樹を通じて森づくり活動をしているNPO法人「地球の緑を育てる会」の石村章子 理事長にお話を伺いました。

Q 会の活動内容を教えてください。

A 2001年に団体を設立しました。つくばみらい市狸穴のほ場でどんぐりの実からポット苗を育苗し、育てた苗木を緑化の必要な場所に植樹する活動を20年以上行っています。

Q 現在、育苗に関わる会員は何人ほどいらっしゃいますか。

A 会員は全国におられますが、つくばみらい市のほ場で苗木づくりを毎日している会員は8人程度です。植樹の際には、各地から多くの地域の方々がボランティアとして協力してくれます。



保育園児ジャガイモ掘り

Q 苗木づくりや森づくりという活動を始めるきっかけは何ですか。

A 以前は別の団体で、中国の砂漠緑化の活動に関わっていました。その経験を活かしながら、森づくりの著名な先生の「どんぐりは地球資源」という助言がきっかけでした。ポット苗での苗木づくりから始め、その苗木を活用しての筑波山神社林の山林再生、企業や学校の森づくり、都市部や住宅街での緑化活動などを行っています。



苗木を植えてから6年後、人の背丈の倍以上に成長しました。

Q どんぐりの実から苗木を作っているってすごいですね。

A はい。黒いビニールの苗ポットで、落ちているどんぐりの実から苗木を育てています。苗木づくりは日々の管理が必要ですが、今はもう習慣になっています。

Q この活動を通じて伝えたいことなどありますか。

A 植樹を通じて山林再生だけでなく、もっと緑豊かなまちづくりもできます。流山市のまちづくりプロジェクトもお手伝いしました。住宅地の公園や学校、道路脇なども緑を増やすことで、地球温暖化防止や防災、美観向上などメリットは沢山あります。また、SDGsの観点からも将来世代に残すまちの財産ができると思います。つくばみらい市も緑豊かなまちづくりを掲げています。

で、是非、みんなの力で今以上に素敵なまちにしていけたらいいですね。

Q 最近ほ場でお子さんなどに土に触れる体験をしていただいていますね。

A ほ場近くの保育園児の方などにジャガイモ掘りの体験や思いっきり走り回ったりしてもらっています。土に触れる機会が少ないので、お子さんの遊び場の形で楽しんでもらっています。自然を経験してもらって地域でのコミュニケーションも広がっていければよいと考えています。

本日はお忙しい中、取材にご協力いただきましてありがとうございます。

(取材者 岡本昌弘 守谷智明)

つくばみらい市の こんなことが決まりました

第3回臨時会 7月28日 (1日)

第3回定例会 8月30日～9月22日

(24日間)

議案審議

●第3回臨時会で審査した案件

市長提出案件 2件
議員提出案件 1件
計3件

●第3回定例会で審査した案件

市長提出案件 34件
議員提出案件 2件
請願 1件
計37件



ここに注目



決算特別委員会で、
令和2年度決算を審査しました

今定例会では、決算特別委員会を設置し、委員会は付託された認定第1号から認定第9号、議案第58号及び議案第59号について、9月14日から16日及び22日の4日間にわたり開催し、慎重に審査を行いました。

◎令和2年度の各会計の歳入歳出決算額などは、次のとおりです。

一般会計	歳入決算額	268億8,782万4,202円
	歳出決算額	262億6,594万7,272円
国民健康保険特別会計	歳入決算額	45億 316万4,560円
	歳出決算額	44億5,369万8,406円
後期高齢者医療特別会計	歳入決算額	5億9,631万2,086円
	歳出決算額	5億9,446万1,818円
介護保険特別会計	歳入決算額	37億6,361万6,357円
	歳出決算額	35億6,718万7,158円
農業集落排水事業特別会計	歳入決算額	3億5,789万5,951円
	歳出決算額	3億3,896万9,076円
市営分譲住宅特別会計	歳入決算額	4,083万2,649円
	歳出決算額	4,080万7,005円
水道事業会計	収益的収入	15億9,155万7,948円
	収益的支出	13億6,003万6,494円
	資本的収入	7億1,863万7,579円
	資本的支出	11億 145万6,708円
下水道事業会計 (公共下水道)	収益的収入	13億5,138万7,030円
	収益的支出	10億5,110万8,961円
	資本的収入	2億7,475万3,700円
	資本的支出	6億7,364万 460円
水道事業会計剰余金の処分 当年度未処分利益剰余金		3億1,605万1,619円
下水道事業会計剰余金の処分 当年度未処分利益剰余金		2億7,864万5,780円

※水道事業会計及び下水道事業会計の資本的収支の不足分は、積立金などで補てんしました。

Pick up1

総合計画調査特別委員会を 設置しました

発議第5号 総合計画調査特別委員会設置に関する決議

第2次総合計画後期基本計画の策定に伴い、市議会では、令和3年7月28日に議長を除く全議員で構成する総合計画調査特別委員会を設置しました。

市政全般にわたる市民のニーズや課題を踏まえ、本市が進むべき方向性を検証し、市民のための計画となるよう市議会として集中的に調査を行います。



Pick up2

人事紹介について

諮問第1号・第2号
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
同意第5号 監査委員の選任について
同意第6号・第10号 政治倫理審査会委員の委嘱について

人権擁護委員の任期満了に伴い、議会の意見を求められ、次の方を適任と認めました。

人見 実俊 (再任)

大好 三智子 (再任)

監査委員の任期満了に伴い、議会の同意を求められ、次の方の選任に同意しました。

杉山 武雄 (新任)

政治倫理審査会委員の任期満了に伴い、議会の同意を求められ、次の方の委嘱に同意しました。

鈴木 清 (再任)

宮内 兼義 (再任)

篠崎 晴彦 (新任)

染谷 健三 (新任)

坂田 清 (再任)

令和3年第3回臨時会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
議案第 50 号	つくばみらい市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 51 号	令和3年度つくばみらい市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
発議第 5 号	総合計画調査特別委員会設置に関する決議	原案可決

令和3年第3回定例会 議決一覧表

議案番号	議案名	結果
報告第 7 号	健全化判断比率等の報告について	報告
報告第 8 号	令和2年度つくばみらい市一般会計継続費精算報告書について	報告
報告第 9 号	令和2年度つくばみらい市介護保険特別会計継続費精算報告書について	報告
報告第 10 号	令和2年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計継続費精算報告書について	報告
諮問第 1 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第 2 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
同意第 5 号	監査委員の選任について	同意
同意第 6 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 7 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 8 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 9 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
同意第 10 号	政治倫理審査会委員の委嘱について	同意
議案第 52 号	つくばみらい市空き地の適正管理に関する条例	原案可決
議案第 53 号	つくばみらい市環境保全条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 54 号	つくばみらい市都市農村交流施設条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 55 号	つくばみらい市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 56 号	つくばみらい市移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 57 号	つくばみらい市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第 58 号	令和2年度つくばみらい市水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 59 号	令和2年度つくばみらい市下水道事業会計剰余金の処分について	原案可決
議案第 60 号	令和3年度つくばみらい市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第 61 号	令和3年度つくばみらい市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第 62 号	令和3年度つくばみらい市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決

議案番号	議案名	結果
議案第 63 号	令和 3 年度つくばみらい市下水道事業会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
議案第 64 号	令和 3 年度つくばみらい市一般会計補正予算 (第 7 号)	原案可決
認定第 1 号	令和 2 年度つくばみらい市一般会計決算認定について ※内容に一部誤りがあったため、本議案は撤回となった。	撤回
認定第 2 号	令和 2 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算認定について	認定
認定第 3 号	令和 2 年度つくばみらい市後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定
認定第 4 号	令和 2 年度つくばみらい市介護保険特別会計決算認定について	認定
認定第 5 号	令和 2 年度つくばみらい市農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定
認定第 6 号	令和 2 年度つくばみらい市市営分譲住宅特別会計決算認定について	認定
認定第 7 号	令和 2 年度つくばみらい市水道事業会計決算認定について	認定
認定第 8 号	令和 2 年度つくばみらい市下水道事業会計決算認定について	認定
認定第 9 号	令和 2 年度つくばみらい市一般会計決算認定について ※認定第 1 号の撤回に伴い、本議案が上程された。	認定
発議第 6 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	原案可決
発議第 7 号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決

番号	請願・陳情名	結果
請願第 1 号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	採 択
陳情第 2 号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	全議員及び執行部に配布
陳情第 3 号	人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること	全議員及び執行部に配布
陳情第 4 号	コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める共同の申し入れ	全議員及び執行部に配布

討 論

第 3 回定例会

認定第 2 号
令和 2 年度つくばみらい市国民健康保険特別会計決算認定について
【反対討論】 間宮美知子議員
【賛成討論】 守谷智明議員

認定第 7 号
令和 2 年度つくばみらい市水道事業会計決算認定について
【反対討論】 古川よし枝議員
【賛成討論】 守谷智明議員

認定第 9 号
令和 2 年度つくばみらい市一般会計決算認定について
【反対討論】 古川よし枝議員
【賛成討論】 鐘ヶ江礼生奈議員
【賛成討論】 横田透議員

議案質疑

第 3 回定例会

議案第 52 号
つくばみらい市空き地の適正管理に関する条例
【質疑者】
鐘ヶ江礼生奈議員

聴きたい 知りたい 市政

一般質問
(要旨)

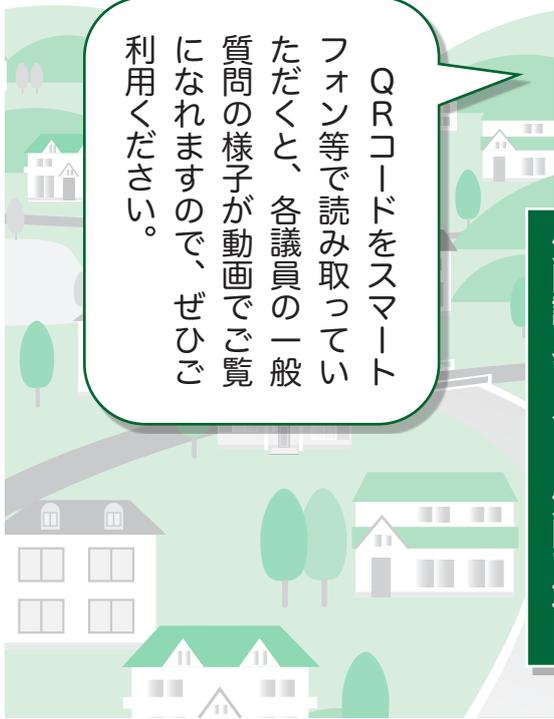
一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、市議会議員が市に対して質問を行います。今回の一般質問であなたの生活にかかわる内容はありますか？
質問は、議員本人が概ね200字を目安に要約しています。

質問議員12人

質問19項目

QRコードをスマートフォン等で読み取っていただくと、各議員の一般質問の様子が動画でご覧になれますので、ぜひご利用ください。



三歳からの性教育の必要性と現在の性教育の改善について



小林 芳子

●小林芳子議員

社会的課題として取り上げられた、生理の貧困問題は経済的困窮ばかりではない。根本的な解決策として性への理解が必要と考える。

子どもたちが性の被害者、性の加害者にならないためにも文部科学省が示している幼児期からの教育教材「生命の安全教育」を活用する性教育の改善を求める。「三歳からの性教育」「性暴力の予防」「性への理解の充実」の指導について、市の考えを伺う。

●教育部長

文部科学省の定める幼稚園教育要領や学習指導要領には、性に関する指導について特に明記はされていない。しかし、文部科学省が示している「生命の安全教育」では幼児期からの教育教材が紹介されており、その活用を推進してい

●教育長

るところである。性への正しい理解を進めるために、幼児期からのこうした取組は大切であると考えている。

市としては、地域や家庭教育の観点と平行し、学校教育で実施される自分の大切さとともに他の人の大切さも認めるといふ人権教育や、男女が社会の対等な構成員として活躍の場を求める男女共同参画の視点も合わせながら、男女が互いに尊重し合えるような社会を実現できるように学校教育を充実させていきたいと考えている。





介護保険事業について



古川 よし枝

●古川よし枝議員

介護保険は施行されて22年目、保険料は約2倍に膨れ、保険給付削減のためサービスの制約など社会保障としての介護保険制度の改善が続いている。

今年8月から介護保険施設の入居者の「居住費」「食費」などの補足給付制度の見直しで、預貯金等の要件が細分化された。施設によっては入居者の2割が対象外となる報道もあるが、入居者の実態はどうなのか。対象外になると、最大で年82万円も負担が増える。市の相談体制は十分なのか。

●保健福祉部長

制度の見直しは、国において、高齢化が進む中で負担の公平性と制度の持続可能性を高める観点から、一定以上の収入のある方に対

し、負担能力に応じた負担を求める改正で、第3段階が収入額に応じて2つに細分化された。

昨年度の補足給付の対象となつた338人の方に、今年度の申請書と制度改正のお知らせを送付し、8月20日現在、302人の方から申請を受け付けている。その中には、預貯金等の改正要件により対象から外れる方はいない。また、この改正により、負担が増えた方は108人になる。

今後引き続き、課内において、改正点の内容を把握するため勉強会の実施や、関係機関と連携しながら、相談体制の強化を図ってまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆住宅リフォーム資金助成制度の復活について



学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の進捗状況について



中村 豊

●中村豊議員

文部科学省は、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革を進めるようにと各教育委員会に通知を出した。働き方改革という言葉は、

コロナ禍の生活の中で各方面から聞こえてくる言葉になってきているが教員の部活動にも目が向けられるようになってきた。令和5年度には、外部指導者を中心に行う地域団体と協力体制を確立させ、部活動の地域移行を進めなければならないと通知されているが、本市の進捗状況と今後の考えを伺う。

●教育部長

本市の地域部活動の推進の取組として、市内中学校で外部指導者による指導が行われている。専門的な知識を持ち、高い技術指導ができる外部指導者の存在は、生徒

の活動意欲や技術の向上だけでなく、担当顧問の指導力向上や業務軽減にもつながっている。

現在、県内には地域移行に向けた部活動改革を進めている拠点校が2校あり、その拠点校の実践では、外部指導者を中心に行う地域団体との協力体制を確立させ、また保護者や地域への理解を得るための活動を積み重ね、部活動の改革が進められている。本市においても、その拠点校の実践を参考にしながら、地域団体との協力体制を確立させ、地域移行に向けた部活動改革を段階的に進めたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)

☆通学路の総点検の進捗状況について



コロナ禍における 予算編成方針について



中山 栄一

●中山栄一議員

令和4年度の当初予算の編成方針について、本市はこれまで、市長選挙の年は、新規事業や政策的経費をそぎ落とした骨格予算を編成してきたが、私はこの骨格予算に疑問を感じている。

新型コロナウイルス感染症の影響から、地域経済の先行きが不透明な中、市民を第一に考え、必要な時に必要な支援ができる予算編成、問題を後回しにしない予算編成が求められている。市長は令和4年度当初予算をどのように編成する考えか伺う。

●市長

本市では、合併からこれまで、市長選挙を控える年度においては、いわゆる骨格予算の形で当初予算を編成してきた。本来、当初予算

は、その年度の歳入、歳出すべて

について、年間の見通しのうえにたって編成されるべきものであり、経常経費や継続事業は計上するが、新規事業や政策的経費は計上しない予算編成は、不完全な予算だと思っている。

令和4年度の予算編成方針については、今年度の施策の継続や更なる拡充を図り、その相乗効果で、1日でも早い地域経済の回復を目指すし、また、切れない行政に必要な時に必要な施策ができる予算編成をしたいと考えている。骨格予算とか通常予算とかではなく、真に必要な予算編成を行ってまいりたい。



「行政のデジタル化とプッシュ型行政サービス」について



岡本 昌弘

●岡本昌弘議員

現在、日本の行政サービスは住民自ら申請をする申請主義に基づいている。

制度の対象であっても情報を知らなかったことで、申請に至らなかったケースが少なくない。このため申請主義の弊害解消を目的として、その人に必要な行政サービスを、市側からお知らせする「プッシュ型行政サービス」を充実させることで、誰もがしっかりとした支援を受けられる社会にすること、誰一人置き去りにしない社会が重要だと思うが市の考えを伺う。

●総務部長

行政手続きのオンライン化については、国の自治体DX推進計画の重点取組事項の一つであり、本市でも市民がオンライン手続きが

できるよう、環境整備を進めている。現状では、国や県のシステム

を利用した「ぴったりサービス」「いばらき電子申請・届出サービス」を活用している。また、マイナンバーを通じたオンラインによる転出、転入予約の実現に向けて、令和3年度に国の引越しワンストップサービス検証等に参加し、検討を進めている。

市としても、ICTを活用し手続等の時期を失うことがないように、必要な情報を発信し、誰もが窓口に出向くことなくオンラインで手続を行えるよう、国の動向を注視し庁内で連携しながら取り組んでまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆「デジタル格差解消と高齢者の

スマホ活用支援」について



財政健全化について



直井 高宏

●直井高宏議員

市長は施政方針で「健全な財政運営の推進」を掲げ、歳入確保の手段として「ふるさと納税」などを活用している。

現在の財政調整基金の残高は約16億円であるが、収支見通しでは、財政調整基金を財源不足に充てる

と、令和5年度で枯渇する。財政健全のためには、歳入の確保と歳出の削減が必要であるが、市民サービスの低下は避ける必要がある。

これらを踏まえて、令和4年度以降の予算編成方針について伺う。

●副市長

財政調整基金は、将来の財政運営のためにも、一時期に全て活用すべきものではなく、災害対応など、緊急な案件に対応するため

にも必要である。

当初予算編成時には、歳出だけでなく新たな財源としての歳入も検討することや、夏から「業務の整理・合理化の方針」を示し、担当部署へ事業の有効性・効率化などの検討を行うよう指示をしている。

令和4年度以降の予算については、「健全な財政運営」を図っていくために、躊躇なく見直しを進める。また、収支見通しは、必要な規模の財政調整基金を確保しつつ、安定した財政運営を図るためのシミュレーションであり、収支見通しどおりに進むことがないよう、全庁的に財政健全化に取り組んでまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆本市職員の資格取得について



学校図書館に関わる司書及び図書管理システムについて



間宮 美知子

●間宮美知子議員

本市の学校司書の配置は、14校に対して4人で、近隣市が各校1人配置しているのと比べると大変遅れている。また、新設校と既存校の蔵書数や新刊本の数、蔵書管理の仕方等、大きな差が生じており、不公平である。早急にその差を縮める努力をすべきだ。図書購入費をすぐには増額できないのなら、市立図書館と連携して、読書環境の改善を図ってほしい。そのためにも、蔵書管理の一元化を目指すシステム化が必要と考えるが、いかがか。

各学校の学校図書館の環境については、市立図書館からの貸し出しにより一定の教育環境は維持されている。

●教育長

各学校の学校図書館の環境については、市立図書館からの貸し出しにより一定の教育環境は維持されている。

教育委員会では、学校図書館と

市立図書館の図書資料等を共有し、県立図書館とも連携することで、予算の効率化や有効な蔵書管理を図り、無駄がなく、より利用しやすいシステムの構築を考えている。今後、小中学校において、蔵書リストのデータ化を図り、システム構築の準備を進め、これにより、

学校司書の貸出返却業務、新刊図書の選書・受入業務などにかかる負担の軽減につながり、さらに蔵書リストがデータ管理されることで、必要とする資料が探しやすくなるなど、子どもたちの読書意欲の向上にもつながるものと考えている。

(掲載以外の質問事項)

☆谷和原庁舎のバリアフリー化について



市の管轄する小中学校及び 公共施設の除草について



中山 治

●中山治議員

市立学校等の除草は、教職員及び地元地域の方のご協力で行われて来たことは素晴らしい文化でもある。しかし、少子高齢化や東日本大震災後、汚染残土が敷地内に保管の現実、安心安全からも難しい。

近隣の市では、既に、全て業務委託及び専任されている。これらを踏まえ除草こそが委託をされる時期にきていると考える。働き方改革からも、現在市が管轄する施設や学校の除草の現状と今後の管理運営をどうされるのか伺う。

●総務部長

公共施設については、来訪者に気持ちよく利用してもらうための環境を整備していく必要があると考えている。除草作業は、各施設

の施設管理者が業務委託や職員による作業等により行っている。

●教育部長

小中学校の除草作業については、各学校の実情にあわせた管理業務の委託、教職員による除草作業やPTAによる奉仕作業などが行われている。

教職員の働き方改革は、事務事業の効率化を図ることが大切であると考えている。校内の清掃作業や除草作業は、施設の危険箇所等を早期に発見することができ、児童生徒への被害を未然に防止することにつながる。教職員による除草作業等については、他の公共施設の除草作業を参考に、業務委託の内容について検討していく。



ペット同伴避難に備えた 取組について



染谷 礼子

●染谷礼子議員

近年、ペットは家族の一員という意識が一般的になり動物愛護の観点のみならず、飼い主の心のケアの観点からも災害時のペット同伴避難所は重要な役割がある。一昨年の台風対応において、初めて開設した時の状況を伺いたい。

ペット同伴避難所の更なる取組が必要である。災害という非常時に避難所でのペットをめぐるとラブルを最小限に抑えるため、ペット同伴避難の心構えや注意点をまとめたりフレットを作成し配布してはどうか。

●総務部長

ペット同伴避難所への避難者数は70人、ペット数は計31匹であった。避難所では、人とペットが別々に生活するルールであったが、飼

い主がいないと犬が吠えだすケースがあり一緒に避難生活をしてもらう状況となった。また、エントラス部分に避難者とペットの避難スペースを確保してしまい、入口付近が混雑する状況となった。課題は、感染症対策や円滑な誘導を行うため、ボランティアの協力確保が必要となる。

また、避難所での一定のルール作りは必要であり、事前に周知しておく必要があると考えている。今後は近隣自治体や環境省のガイドラインを参考に、避難生活でのルールや準備品、ペットのしつけなどについて周知したいと考えている。

(掲載以外の質問事項)

☆住民サービス向上の取組について



指定難病患者に対し、市の公共交通・公共施設の利用料金を減免することについて



横田 透

●横田透議員

県では、歴史館や植物園、大洗水族館などの公共施設において、指定難病の特定医療費受給者証を所持している方に対し、入館料等の減免を行っている。

市長は「寄り添う市政」「頼れる福祉」を公約に掲げて市政を担ってきた。そこで、県政にならない、指定難病患者の方々にも、障害者手帳を持っている方々と同様に、市の公共交通や公共施設の利用料金の減免を実施すべきだと考えるが、市長の考えを伺う。

●市長

指定難病患者の方々について、障害者手帳を所持している方と同様に、市の公共交通の運賃や公共施設の利用料金等の負担を軽減す

ることにより、社会参加の機会が拡大されると考えている。

そのため、コミュニティバスやデマンド乗合タクシーにおいて、難病患者の方々が、利用料金の減免を受けられるよう、市の公共交通の在り方等を審議する機関である地域公共交通会議に諮りながら、来年度早々の実施を目指してまいりたい。

今後はさらに、市の公共施設についても、来年度早々の実施に向け、対象とする施設など、具体的な内容について検討してまいりたい。

(掲載以外の質問事項)

☆統一的な基準による地方公会

計の活用について



まちなかのベンチ設置について



鐘ヶ江 礼生奈

●鐘ヶ江礼生奈議員

停留所で道路縁石に座りバスを

待つ方を見かけるが、危険性も高い。コミュニティバスや病院バスの停留所及び公共施設屋外等のベンチ設置状況及び今後について伺う。また、まちなかにベンチを設置することにより、高齢者のフレイル予防や地域交流の場など、外出し易い環境ができ、地域の見守り効果もある。市民や企業等との協力も必要だが、市民協働でまちなかにベンチを設置するベンチプロジェクトを推進してはいかがか。

●総務部長

バス停留所については、コミュニティバス7か所、病院バス4か所にベンチが設置してある。また、公共施設については、コミュニティ

センターや公民館などに設置している。

今後は、利用しやすい公共交通サービスを提供するため、バス停ごとの利用者数等を勘案し、主要なバス停における待合空間の整備について検討をしていく。公共施設も、ベンチの果たす役割を踏まえ、適正な配置を検討していく。

●保健福祉部長

本市で進めている高齢者の外出支援や介護予防事業の充実を図るとともに、まちなかにベンチを設置する「ベンチプロジェクト」について、他市での取組が本市において活用がマッチング可能かなど、今後最先進自治体の取組について調査研究してまいりたい。



予防・健康づくりのための 保健事業について



守谷 智明

● 守谷智明議員

国では全世代対応型の社会保障制度構築のための検討が行われているが、本市における保健事業の現状、保健事業における利用率向上や利便性向上のための取組及び今後のオンラインを活用した事業の推進について伺う。

また、保健事業の一つとして高齢者のポリファーマシー対策を開始している事例があるが、本市での高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施及びポリファーマシー対策事業の実施について状況を伺う。

● 保健福祉部長

特定健康診査の受診状況については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止や受診控え等により受診者数が減少した。

受診率向上の対策としては、A

ーを用いた受診勧奨の実施や、みらい健診のインターネット予約の導入に向けた取組を行っている。今後もこのような取組を推進し、受診率向上に努めていきたい。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施は、75歳以上の高齢者の心身の多様な課題に対し、きめ細やかな支援を行うため、令和4年度より実施を予定している。また、後期高齢者だけではなく、国民健康保険被保険者も視野に入れ、服薬情報通知の発送など、ポリファーマシー対策の在り方を調査研究していきたい。



議会ライブ配信を開始しました



つくばみらい市議会では、本会議の映像をYouTube（ユーチューブ）「つくばみらい市議会公式チャンネル」で令和3年第3回定例会からライブ配信を開始しました。

ライブ配信は、本会議開催中（開会から閉会までの間）に、ご視聴いただけます。

■ YouTube ■

「つくばみらい市議会公式チャンネル」
（外部リンク）



00 : 00 / 99 : 99



令和4年度 予算編成に対する要望

10月8日、つくばみらい市議会では、小田川市長に令和4年度予算編成・施策について、下記の内容の要望書を手渡し、要望活動を行いました。

なお、この要望書は各常任委員会ごとに委員長が取りまとめ作成したものです。

予算要望内容

(総務常任委員会)

- 1 投票所の増設と投票率向上のための啓発
- 2 交通安全対策の推進
- 3 地域防災組織づくりの推進
- 4 適正な人員配置と専門職を含めた人員確保
- 5 市民サービスの向上
- 6 効率的な行財政改革の推進
- 7 市民協働のまちづくりの推進
- 8 消防団の人員確保と組織の充実

(教育民生常任委員会)

- 1 地域包括ケアシステムの充実
- 2 充実した教育環境の整備と教職員の働き方改革の推進
- 3 義務教育施設の適正配置と安全な通学路の整備
- 4 福祉・医療・介護の充実
- 5 保育・子育て支援・放課後子どもプランの充実
- 6 障がい者の自立とバリアフリー化の推進
- 7 青少年の健全育成の推進
- 8 スポーツ施設・文化施設・図書館の利用促進と施設充実

(経済常任委員会)

- 1 スマートIC周辺の地域振興と観光施策の推進
- 2 農業施策の推進と生産物のブランド化・販路・直売所の拡大支援
- 3 上下水道の安心安全な提供と適正な運営
- 4 雨水排水対策の推進
- 5 商工業者への振興支援
- 6 幹線道路・生活道路の整備促進
- 7 温暖化対策の推進、クリーンエネルギー利用の促進と適正な設置の監視
- 8 空家・空き地対策の推進



正副議長と3常任委員長が市長に要望
(副議長は欠席)



令和3年 第4回定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
			本会議 (開会)	休会	休会	休会
28	29	30	12/1	2	3	4
休会	本会議 (一般質問)		補正予算 特別委員会	総務常任 委員会		休会
			総合計画調査 特別委員会			
5	6	7	8	9	10	11
休会	教育民生 常任委員会	経済常任 委員会	休会	休会	本会議 (閉会)	

※日程等については、変更になる場合があります。なお、会期日程は、議会運営委員会（通常は開会日の7日前に開催）で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

◆ 音声による議会だより ◆

ホームページより音声による議会だよりの配信を行っています。音声は、ボランティア団体『朗読グループかたくり』のご協力で作成しています。

また、社会福祉協議会を窓口にも目の不自由な方々を対象に、無料でCDの貸し出しをしています。ぜひ、お聴きください。

◆ 市議会の傍聴について ◆

議会は、特別な場合を除き、だれでも傍聴することができます。

傍聴は、先着順で受付票に住所、氏名、年齢を記入していただくことで、傍聴席に入場できますが、現在のコロナ禍により、傍聴席の間隔をあけておりますので、席に限りがございます。

また、感染症予防対策にご協力ください。

■第3回臨時会 傍聴者数 0人

■第3回定例会 傍聴者数 51人

傍聴者の守るべき事項があります。
詳細は議会事務局にお問い合わせ願います。

● 新型コロナウイルス感染症対策 ● のお願い

本会議・委員会を傍聴される際には、感染症の拡大防止のため、次のとおりご協力をお願いします。

1. マスクを着用してください。
(マスクはご自身でご用意願います。)
2. 傍聴席の出入口にある消毒液で手指を消毒してください。
3. 当日の朝に検温し、高熱のある場合や、体調不良(だるい・咳が出るなど)の場合は傍聴を自粛願います。

◆ 本会議ライブ配信について ◆

本会議の様様をインターネットを通して、ご自宅・外出先等からYouTubeのライブ映像をご視聴できます。

◆ 議会TV放映中 ◆

議会開会中、伊奈庁舎及び谷和原庁舎のロビーに設置してあるテレビで、本会議の様子を生中継しています。どうぞ、ご視聴ください。

◆ 会議録の公開について ◆

会議の会議録は、市ホームページ、市立図書館、議会事務局でご覧いただけます。なお、最新の会議録の公開開始は、各定例会終了から概ね3か月後となります。

◆ インターネット録画中継配信中 ◆

つくばみらい市議会では、「市民に身近な、開かれた議会」を目指し、ホームページより録画の配信を行っています。それぞれの映像の掲載期間は1年となります。どうぞ、ご覧ください。

ご意見ご感想をお寄せください！

「議会だより」についてのご意見・ご感想をお寄せください。今後の本誌編集の参考にさせていただきます。また、議会についてのご意見等ありましたら併せてお聞かせください。



発行：つくばみらい市議会 編集：議会広報特別委員会

〒300-2492 つくばみらい市加藤237番地 TEL：0297-58-2111(代表) FAX：0297-20-5760
URL：https://www.city.tsukubamirai.lg.jp E-mail：gikai01@city.tsukubamirai.lg.jp